

「僕の夢」

波野中学校 2年

ながおか 長岡 かずま 一真

僕の将来の夢は、林業を継ぐことです。その夢を持ったきっかけは、子供の頃に見た父の姿です。父の仕事が林業で、山の中で働いていました。

僕は、ある日、お母さんがお父さんの仕事を手伝いに行つた時、どんな仕事をしているんだろうという好奇心から、仕事場に行ってみました。仕事場に行くと木がたくさんありました。どこを見ても木だらけで、何とも言えない気分になりました。

最初は、木を使っているのかわからないにしか思わず、あまり車の中から外に行こうと思いませんでした。

「待っていて。ここで見て。」と言われて、お母さんも手伝いに行きました。

そこで見たのは、お母さんが油圧シヨベルを動かし、お父さんはチェーンソーを持って木を切っている姿でした。お父さんは普段家に帰ってくると、燃料の臭いがしていました。そしてすごく汚れていました。その理由が分かりました。二人とも一生懸命に仕事をしていて、真剣に取り組んでいました。

僕はその姿を見て、(お父さんお

母さんは、こんなカッコいい仕事をしているんだな)と思いました。でも、それだけでは強く林業をしたいとは思わなかったと思います。

この日にその現場を終え、山主さんのところに行きました。お父さんは、とてもいい笑顔で山主さんと話していました。その様子を見て僕は、(この仕事をして喜んでくれる人がいる、人を笑顔にすることができるんだな)と思いました。

その夜、僕はお父さんに聞いてみました。

「なんでこの仕事をしようとしたの。」

お父さんは、

「この仕事をして、喜んでくださる山主さんの笑顔を見ることができるから。そして、みんながまた使う、自然を守っていく形が続いていくようにしていきたいから。」

と仰っていました。

この日から僕は、よくお父さんの仕事について行くようになりました。たまには仕事を手伝って、僕もできることが増えて我ながらすごいなと思いました。でも、重いからすぐに疲れて、途中で嫌になることもありました。だから、僕はお父さん

に、やりがいを感じてみました。

「この仕事をしてやりがいと感じるのはどんな時なの？ やっぱり笑顔を見ること？」

すると、お父さんは、

「確かに、笑顔を見ることも嬉しいけど、一番は、山がどどん次の世代につながっていくって、山を守ることだよ。だから社名が『ネクストウッド』って名前なんだよ。」

次の日、知らない人が来ました。山主さんでした。山主さんから、

「ありがとね。助かっているよ。」

と声をかけられました。とても嬉しかったです。(こういうことか。確かに)もつと嬉しくなりたい、頑張るぞ)という気分になりました。

僕が将来の夢を実現させるためには、技術を身につける必要があります。さらに、力と判断力も必要です。なぜかというと、力は、チェーンソーとか重いものを持たないといけないから、そして判断力は、この林業は命をかけるような危険な作業をしないと行けないからです。でも、「後から」では遅く、後悔してしまうかもしれません。だから、今から自分出来ることを一生懸命にしていこうにしたいです。

先生からのコメント

一真さんが将来、なぜ林業に携わろうとしているのか、知ることができて良かったです。おうちの方の働く姿を見て、自分もそうなりたいと思っていること、そして、みんなを笑顔にしたいという思いを持っていること、とても素敵だと思います。職場体験では、将来希望している林業関係の現場に行き、たくさんのお話を学びましたね。今後も、技術・力・判断力を身につけるために、様々な経験をしてほしいと思います。応援しています。





地域の代表集い

第20回阿蘇市民地域対抗駅伝大会

12月1日、農村公園あびかで第20回阿蘇市民地域対抗駅伝大会が開催され、宮地Aチームが優勝しました。

熱戦



総合順位:1位宮地A 2位阿蘇西 3位内牧A

最優秀選手賞:岩永 俐洵圭(宮地A)

優秀選手賞:田口 大雅(阿蘇西)、吉岡 美紘(内牧A) 敢闘賞:工藤 慎ノ介(波野)

区間賞:1区 吉岡 美紘(内牧A) 2区 中野 琉雅(内牧A) 3区 岩永 俐洵圭(宮地A)

4区 坂梨 明咲(碧水)

5区 原住 唯(阿蘇西) 6区 内田 千陽(内牧B)

7区 坂田 侑叶(碧水)

8区 村上 慎一(阿蘇西)

道路と河川に彩りを

道路河川環境美化コンクール



▲「和みの花みち保存会」阿南米夫代表

11月15日、令和6年度道路河川環境美化コンクールの表彰式が市役所であり、波野地区の住民からなる「和みの花みち保存会」が最優秀賞を受賞しました。

同団体は波野滝水の市道2.2キロにわたり花を植栽。年間を通した行き届いた管理などが評価されました。阿南米夫代表は「メンバーの高齢化が進んでいるが、できる限り活動を続けたい」と話しました。

市役所で清掃活動

阿蘇たばこ販売協同組合



▲阿蘇たばこ販売協同組合の皆さん

11月28日、阿蘇たばこ販売協同組合の13人が市役所周辺清掃を行いました。

同組合は市内のたばこ販売店22店舗が加入。社会貢献として毎年3回、阿蘇医療センターなど地域の美化活動を続けています。嶋村征司理事長は「分煙も推進し、きれいなまちづくりを続けたい」と話しました。

ここは阿蘇乙姫

乙姫区が案内看板設置



▲乙姫区長の中村親一さん

乙姫区の住民が、国道57号沿いに案内看板を設置しました。地元の木材を使用したもので、「ここは阿蘇乙姫」と記されています。看板の老朽化を受け、市などの補助金を活用して製作。製作から設置まで地元の住民がすべて担いました。乙姫区長の中村親一さんは「天気予報でよく知られた地名。看板を見て乙姫がここにあるということを知ってほしい」と話しました。

サッカーで健康に

ロアッソ熊本が市内の小学校にボールを寄付



▲チーム関係者からボールを受け取る子どもたち

J2ロアッソ熊本から市内の小学校へサッカーボール25球が贈呈されました。スポーツを通した子どもたちの健康増進を目的に熊本トヨタ自動車(株)と共同で行っている取り組みで、リーグ戦での1ゴールにつき5球が県内の小学校へ贈呈されています。

12月2日、チーム関係者とマスコットのロアッソくんが内牧小を訪れ、子どもたちにボールを手渡しました。

阿蘇駅前に彩り豊かな光

噴水広場で恋人たちのイルミネーション



▲ハートのオブジェで写真を撮る人たち

11月29日、阿蘇駅前の噴水広場で「恋人たちのイルミネーション」が始まりました。オープニングイベントでは音楽ライブが行われ多くの人で賑わいました。午後6時ころには、関係者とYMCA黒川保育園の園児たちが合図に合わせてスイッチを一斉に押し、LEDで彩られたハートのオブジェに光を灯しました。2月16日(日)までの期間中、午後6時から午後9時半まで点灯します。

豊かな森を未来へ

市有林に企業が植樹



▲家族も参加して植樹

市は、自動車部品メーカーのアイシン九州株式会社、エイティ九州株式会社、森林の管理などを担う株式会社豊誠産業の3者と協定を締結しました。協定には水源保護や土壌の保全を目的とし、南宮原地区の市有林に企業が植樹を行うことなどが定められています。

12月8日、部品メーカー2社の社員約60人が協定に基づいて市有林にスギ1,000本を植樹しました。

地方自治の進展に貢献

田中弘子さんに旭日双光章



▲田中弘子さん(左から2人目)

市議会議員を4期務めた田中弘子さんが旭日双光章を受章し、12月6日、市長から田中さんに勲章が伝達されました。

田中さんは平成19年2月に市議会議員に当選以来、総務常任委員会委員長を務めるなど、令和5年2月まで16年にわたり在職しました。長年にわたる地方自治の進展への貢献が高く評価されました。

地域を照らすイルミネーション

新町クラブが公民館に設置



▲新町クラブの皆さん

内牧1区の住民有志からなる「新町クラブ」は同区公民館にイルミネーションを設置しました。

地域を賑やかにしたいと毎年実施されており、同クラブ代表の石井高雄さんは「子どもたちが喜ぶと考え、こしは動物のオブジェを多く設置した。みんなに楽しんでもらえたらうれしい」と話しました。1月10日(金)までの期間中、午後5時から午後9時まで点灯します。